OUR SPORTS 東京
新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401
TEL: 03-3981-1345　FAX: 03-3981-8315
E-mail　njsf@tokyo.email.ne.jp
URL　http://www.t-njsf.net/tokyo/

2019 年 9 月 2 日
9月号
発行責任者：小林章子

核兵器廃絶への運動をより大きく　自治体の後援も増える

～第22回東京反核平和マラソン～

7 月 13 日(土)に第 24 回東京反核平和マラソンが開催されました。一昨年の7月7日には国連で核兵器禁止条約が122カ国の賛成で採択され、ICAN がノーベル平和賞を受賞するなど核兵器廃絶に向けた世界的な流れが大きく前進しつつあります。今年は調布市、狛江市、日野市から新たに後援をもらい、従来の中央区、港区2つの自治体後援に加え5つになりました。首長メッセージも都内の9つの自治体から届きました。そのようななか、日本政府は世界唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約を批准しようとしません。戦後 70 年以上が経ちましたが、平和の大切さを再認識し、二度と戦争をしない、広島、長崎の悲劇を繰り返さないという思いを込め、また日本そして世界の核兵器廃絶の運動が大きく前進するよう願いランナーは走りました。

曇り空の中で、気温も 27 度程度でしたが、多少蒸し暑さを感じる中での東京反核平和マラソンとなりました。東西南北の各コースから約 50 名のランナーが参加し、沿道の方々へ平和の大切さをアピールしました。昨年に続きランナー、スタッフが同じ蛍光黄色の T シャツを着て一体感を出して道行く人たちへアピールしました。沿道からは多くの方々から励ましの声援や手を振っての応援をいただきました。多くの市民がこの運動に共感していただけたと考えております。ゴール地点の神宮通り公園ではサポーターが迎える中、各コースの参加者は無事笑顔でゴール致しました。4 コースすべてのランナーがゴールした後、閉会セレモニーが開催されました。各コースのランナーから感想を話してもらい、「青い空は」などを合唱し無事終了しました。

平和の大切さや核兵器の恐ろしさ、スポーツするには平和でなくては、できないことなどを広くアピールできたと確信し、第 24 回反核平和マラソンを閉幕することができました。

今後も、人類の願いである核兵器廃絶そして世界平和にむけた「反核平和」の運動を継続して行い、さらに大きな運動となるよう来年へとつなげていきたいと考えております。

蛍光グリーンの T シャツは目立つと好評です
上は銀座にて　下は門前仲町にて

基地のない平和な社会を!! ～東京反核平和ウォーキング～

7 月 21 日（日）に東京反核平和ウォーキング゛が開催されました。厳しい暑さの例年と違い、梅雨明け前とあって曇り空のなか、13 名が参加して、JR の拝島駅から出発し、横田基地周辺を歩いて「基地のない平和な社会を」「スポーツは平和とともに」をアピールして歩きました。ゴールのフレンドシップパークまでの約6km。玉川上水が流れる緑地や住宅街もある静かな環境もコースとなっていますが、そのすぐ近くにはフェンスで囲われた米軍基地があります。オスプレイの飛来も日常となっており、参加者は、安心して暮らせる社会を願って6kmのコースを歩きました。道中アコーディオンの演奏で「青い空は」「歩いていこう」等々、平和への願いを込めたうたごえも響かせながら無事ゴールしました。フレンドシップパークでは「横田基地の撤去を求める西多摩の会」が毎月第三日曜日に集会を開いており、ゴールした後、参加しました。

だまっていないで、みんなで声をあげよう
～第9回提言討論会 オリパラ都民の会～

2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会（新日本スポーツ連盟東京都連盟は構成団体として参加）が、7月27日（土）に生協連会館（中野区）で第9回提言討論会を開催しました。約50名が参加し、1年後に迫ったオリンピック・パラリンピックについて、参加者同士が討論、議論する形で進められました。当日の様子は、ウェブサイト上で様々な情報を提供する市民ジャーナリズムのウェブサイト IWJ が生中継し、配信されました。

教育の現場から森峰太郎さん（一番右）

教育の現場からは、教師の森峰太郎さんがオリンピック教育について疑問を提示し、東京都の方針に「日本人としての自覚と誇り」が加わったことや、五輪本来の目的の平和や友好親善についてはほとんど触れられていないことなどが話されました。大会期間中の暑さ対策についても提起があり、過去の大会期間中、日本スポーツ協会の「熱中症予防ガイドブック」に基準に照らし合わせると「運動原則中止」の日が続出していると指摘しました。アスリートファーストのために、危険な状況下での大会開催は見合わせるよう組織委員会へ申し入れるべきだとの意見も出ました。大会経費については東京都の負担が 1 兆 4 千億円に膨らんでいるが、中身が不透明であることを里吉ゆみ都議会議員から報告がありました。また選手村建設予定地である都有地が相場の9割引きで民間事業者へ譲渡された問題では、世論の批判で民間開発業者の増収分の半額を東京都へ戻す特別条項の合意が報じられているが、実際はどうなるか分からないので、裁判で価格を変えさせないといけないとの話もありました。オリパラ都民の会の和食昭夫共同代表（新日本スポーツ連盟会長）は、「東京五輪は誰かの不幸の上にあるのではなく、お互いの幸せのためにある」と話し、開催まであと 1 年余りの短い期間であるがより良い五輪となるよう引き続き運動を頑張っていきたいと話しました。

自然と対話し自然を楽しむ ～第46回東京海の教室～

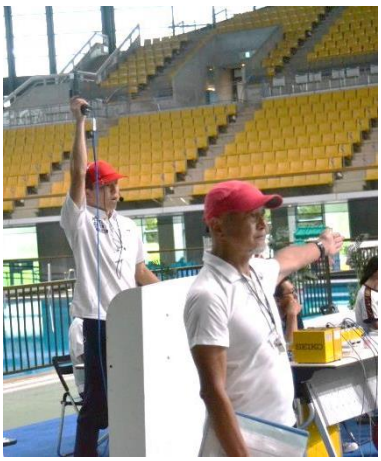
今年も千葉館山の北条海岸で東京海の教室が開催されました。23 名の参加者を 11 名のスタッフで迎えることが出来ました。うち 2 名の小学生は祖父や祖母との参加と幅広い年齢層で、楽しい合宿となりました。3 日間の合宿で、練習が 3 回そして本番という厳しいスケジュールですが、参加者の皆さんはそれぞれの目標を持ち臨んで来られているので、大変充実したものとなったようです。泳力向上コース、遠泳コースともにそれぞれの課題に向け練習を積み重ね、また食事や生活を共にすることでの連帯感、共有感を大事にしてチームワークへとつなげていきました。

プールという作られ囲まれたところと違って、海という自然の中の解放されたところでの練習は、常に条件が変化しています。それを読み取りながら、うまく付き合いながら泳いでいく、つまり自然との対話が必要なのです。大変難しいことですが、うまくいったときの喜びは経験したものでなければわからないのかもしれません。

毎年、痛ましい水難のニュースを耳にするたびに、どれだけ自然と対話し、自然を楽しんでいるのだろうか、と思います。私たちは自然の中ではほんとにちっぽけな存在です。もっともっと自然のことを知り、上手に対話していかなければならないのでしょう。集団遠泳は海の恐さを知り、楽しさを味わい、仲間との絆を感じることができる、そんな場でありたいと思っています。（東京水泳協議会　　穴原康子）

自己ベスト、日頃の成果を試す ～第10回オールエイジ水泳大会～

8月18日（日）に東京辰巳国際水泳場で第10回オールエイジ水泳大会が開催されました。初めての8月開催となりましたが夏休み期間中とのこともあり例年よりやや多い参加者で、小学生から社会人まで約500名が参加しました。東京水泳協議会の大会は、登録に関係なくだれでも参加できる開かれた大会として、また水泳の聖地「東京辰巳国際水泳場」で泳げることもあって水泳愛好者に好評です。参加者の皆さんそれぞれ、自己ベストを目指して、また日頃の練習の成果を試す場として競技に臨みました。スタート台に立って出発合図員の「Take your marks」の掛け声から「ピッ」というピストル音までの1秒程の緊張感が、日常では味わえない何とも言えない時間だと参加者は口をそろえて言います。ピストル音が鳴り、飛び込んでしまえば、各自の思いはそれぞれ。何も考えずに力の限り泳ぐ人、呼吸のタイミングや回数を数えながら泳ぐ人、練習で習ったワンポイントを取り入れてみて実際のレースではどうか試す人、中には「あっゴーグル外れた!!」とレースどころではなくなる人、、、etc。ゴールの黄色いタッチ版をたたいた後の選手の表情もそれぞれです。本大会もレベルの高い選手が多く出場するようになり、各レースどれも見応えもあります。次回の東京水泳協議会主催大会は、11 月 4 日（月祝）に行われる「第 35 回東京年齢別水泳大会」です。この大会もどなたでも参加可能です。スイマーの聖地で、この夏 1 回でも泳いだことがある読者の皆さん、非日常のレースを味わってみてはいかがでしょうか?受付期間は 9 月 12 日（木）～9 月 18 日（水）までです。



審判長（手前）の笛の後に、出発合図員のピストルでレースがスタート

東京都連盟スポーツカレンダー　2019年9月～12月

ランニング

・月例多摩川ロードレース
9/8(日)国立市営河川敷グラウンド横
・月例赤羽マラソン
9/22(日)荒川河川敷
・第56回東京スポーツ祭典陸上競技大会
9/29(日)駒沢オリンピック公園

第9回ゆりかもめリレーマラソン
10/27(日)
東京臨海広域防災公園
4～10のチームでタスキリレーをして42.195kmを走ります

水泳

・第35回東京年齢別水泳大会
11/4(祝)東京辰巳国際水泳場

卓球

・女子ペアマッチPリーグ
9/30(月)東京武道館
・10月プログレスリーグ①
10/25(金)東京武道館
・10月プログレスリーグ②
10/28(月)東京武道館
・第36回ハローレディース団体戦
11/12(火)武蔵野の森スポーツプラザ
・女子ペアマッチPリーグ
11/13(水)東京武道館

■北区
・ダブルスリーグ卓球大会
9/16(祝)赤羽体育館

■練馬区
・練馬区スポーツ祭典卓球大会
9/16(祝)光が丘体育館
・年齢別ペアマッチ卓球大会
10/12(土)光が丘体育館

■中野区
・ハッピーカルテット団体戦
9/8(日)中野体育館
・第57回中野スポーツ祭典(個人戦)
11/23(祝)中野体育館

■世田谷区
・第78回世田谷オープン卓球大会
9/14(土)世田谷区総合体育館

■板橋区
・レディースシングルス大会
10/29(火)上板橋体育館

■多摩
・第17回多摩ABC=XYZ団体戦
10/4(金)泉市民体育館
・多摩ダブルス Pリーグ
11/20(水)柴崎市民体育館

■町田
・第11回ダブルスPリーグ
9/24(火)町田総合体育館

テニス

・東京スポーツ祭典テニス大会
9/29(日)城北中央公園テニスコート
・城北オープンテニス大会
10/6(日)城北中央公園テニスコート
・オータムオープンテニス大会
11/17(日)城北中央公園テニスコート

■北区
・第57回北区スポーツ祭典秋季大会
9/15(日)新河岸川 女子ダブルス
10/6(日)新河岸川 女子団体戦

■中野区
・スポーツ祭典テニストーナメント
9/15(日)上高田庭球場

バドミントン

■中野区
・第57回中野スポーツ祭典バドミントン大会
9/16(祝)中野区立体育館

■北区
・東京都北区予選 混合バドミントン大会
9/23(祝)桐ヶ丘体育館

■板橋区
・板橋スポーツ祭典秋季バドミントン大会
9/28(土)上板橋体育館

■練馬区
・練馬秋季バドミントン大会
10/20(日)光が丘体育館

ウォーキング

・岡上～奈良地区 町田フットパスを歩く
9/15(日)小田急 鶴川駅 9:45集合
・柿生の峰を巡る散歩道
10/5(土)小田急線はるひ野駅 9:45集合

スキー

・2019スキーセミナー
9/8(日)としま産業振興プラザ

～ 編集後記 ～

ある土建(建設労働組合)の支部から「みんなでギネス世界記録に挑戦～400人で一斉にクギを打つという催しを行うので、その審判(監視役)をしてくれないか」という依頼があった。400人で一斉クギ打ち(?)、そんなギネスがあるのか…。ならば、「何百人で一斉ピンポン球つき」とか「何百人でサッカーボール頭のせ」とかもありかな。

(佐藤)

第56回東京スポーツ祭典　　スポーツはかきねを越えて

テニス交流会 ～北区＆東京都連盟～

10/19(土)都立浮間公園テニスコート
参加費800円(定員20名 先着順)
テニスで楽しく種目を越えた交流をしませんか?

テニス未経験者大歓迎!!